

HEAJ

Healthcare Engineering Association of Japan

第 25 回 IFHE 国際病院設備学会ブリスベン会議・メルボルン 海外視察研修報告書 2018



海外視察研修 2018

IFHE 国際会議

2019 年 1 月 31 日

一般社団法人 日本医療福祉設備協会

海外視察研修 2018
一般社団法人 日本医療福祉設備協会

目次

0-1	はじめに	中山（茂）	1
0-2	旅程		3
0-3	参加者リスト		4
1.	IFHE国際会議		5
1-1	IFHE国際会議の概要	中山（茂）	6
1-2	評議員会参加報告	平山	10
2.	施設訪問記録		13
2-1	The Royal Melbourne Hopsital	植木・瀬戸	14
2-2	The Royal Chileren's Hosital	堀・三浦	20
2-3	Monash Hospital	鳥山・星野	28
2-4	Dementia Learning Centre	神田・山中	34
2-5	Lady Clento Children's Hospital	鍋谷・村瀬	38
2-6	Royal Brisbane & Women's Hospital	相島・日置	46
3.	専門レポート		53
3-1	医療システム	遠藤・木村・辻本	54
3-2	家具・備品	近藤・高橋	58
3-3	内装	芋塚・中山（宗）	64
3-4	照明	山村	68
3-5	エネルギー・環境	小山・高岡・不破	72
4.	Architectur and Design Visit	星野	77
4-1	Melbourne	神田・不破・日置	79
4-2	Brisbane	不破・三浦・村瀬	87
5.	旅の記憶	全員	95

0-1 はじめに

各年で開催されている日本医療福祉設備協会（HEAJ）の海外視察研修 2018 年は、私がコーディネイターとして担当することになりました。HEAJ の視察研修は、このところ国際病院設備連盟（International Federation of Healthcare Engineering）の学会に併せて実施され、ただ海外の医療・福祉施設を見てくるのではなく、研修の一環として国際会議および機器展示会にも参加して、多くの新しいかつ実践的な情報を得てしようというところに特色があります。

2018 年度は、オーストラリア・ブリスベンで国際会議が行なわれました。そこで視察研修として彼の地が必然的に選ばれましたが、もう一都市を付加えたプログラムとすることを考えました。私自身、かつて一度だけブリスベンとシドニーに行ったことがあるだけだったのですが、なかなか南半球には縁が遠いようなので、今回はオーストラリアでも古く歴史的な建物や文化が残るといわれているメルボルンを選びました。ロンドン、ニューヨーク、パリについて多くの学生が学ぶ都市でもあるそうです。「世界で最も暮らしやすい都市」の一位に何度も

選出されたこともあるということで、きっと医療や福祉の環境も整っているのだろうと思ったからでもあります。メルボルンはシドニーに次ぐ第 2 の都市であり、ブリスベンは第 3 位の大きさを誇る都市です。

オーストラリアは実質、連邦共和制の国ですが、英国女王を元首として戴いているなど面白い国です。医療保険制度について詳細は報告書に譲るとして、英国の医療制度にルーツを持つ皆保険の国です。国民の満足度も極めて高いと聞きます。英国同様、一般的にはすぐに病院にかかることはできず、まずかかりつけ医に診察をしてもらい、必要があれば、その医師の紹介をもとに病院を訪問することになります。この制度は、税金でまかなっている英国や北欧、あるいは保険制度ではありますが、フランスやドイツも同様です。日本のようにどのような疾患であろうとも大病院にかかる（最近では、日本でも規制がかかっていたり、特別な割増料金が必要になりつつありますが）制度は極めて珍しいものです。

とは言え、病状に関わらず個室を希望したり、診察待ち期間を嫌ったり、特定のお気



に入り医師を指名したければ、それがかなうプライベート病棟が出現していたり、病院づくりも PPP (Public Private Partnership) 制度が大幅に導入され、民間の資金や活力・アイデアを活かす方向に大きく舵を切っているようでした。

訪問について、特にメルボルンの医療施設については、在大阪オーストラリア領事館の Cindy Lineburg さんにお世話になりました。

今回の訪問は図らずも子供の専門病院が3つ重なりましたが、2都市ではありますが、一通りの病院を訪問することができ、なかなか協会の主目的である「設備」については専門の方がご案内くださり、充実したものとなったと思います。ここで自画自賛するよりも、この報告書をお読みいただければ、視察ツアーの充実振りはお分かりいただけると思います。

視察ツアーの一環としてブリスベンで参加した国際保健設備連盟 (International Federation of Hospital Engineering 改め International Federation of Healthcare Engineering) 国際会議は、広大なコンベンションセンターで開催され、ウォンバットやミニクロコダイルに迎えられるウェルカムレセプションから開始しました。基調講演に続いて 35 編の一般発表も行なわれ、その中には HEAJ 副会長の安原先生の演題もありました。また、会議に先立ち開催された理事会・評議会には森村 HEAJ 会長、平山国際委員会委員長が出席されました。さ

らに、ハーグ (オランダ) で開催された前回の国際会議から始まった建築賞について、日本からは 2 件のエントリーがありました。残念ながら最優秀賞はオーストラリアの地元の病院にもって行かれましたが、2 件ともトップ 7 に残りました。

今回、23 名の方がご参加くださいました。建築設計者、設備設計者ばかりでなく、インフラ、医療関連機器、インテリア関連、医療コンサルタントなど、幅広い範囲のメンバーがそろいました。異色なのは病院長までご同行いただき、感謝です。多職種メンバーでの旅行は、いろいろな視点があることを気づかせてくれる良い刺激の旅でした。深い絆も生まれました。そして、この報告書にはありませんが、参加者だけが共有する公式訪問前後のさまざまな楽しみがありました。ここでできたネットワークを活かしながら、これからのヘルスケア施設の水準向上に励みたいと思います。

なお、本報告書をまとめるに当たっては参加者の皆さんに執筆を分担していただきましたが、2 章「訪問施設記録」、3 章「専門レポート」を植木氏、4 章「Architecture and Design Visit」を星野氏、5 章「旅の記憶」を山中氏に取りまとめていただき、全体を堀氏にまとめていただきました。厚く感謝申し上げます。

美味なるワインを思い出しながら

中山 茂 樹

2019 年 1 月

0-2 旅程

	日 付	都 市	時刻	航空機	用 務
1	10月2日 (火)	成田 成田発	17:30 20:05	QF-080	集合 (機内泊)
2	10月3日 (水)	メルボルン着 メルボルン市内	07:45		市内視察 メルボルン泊
3	2019/10/4 (木)	メルボルン	09:00～ 12: 13:00～ 15:		The Royal Melbourne Hospital Cancer Centre The Royal Children's Hospital メルボルン泊
4	2019/10/5 (金)		10:00～ 12: 15:00～ 17:		Monash Hospital (Children's Hospital) Dementia Learning Centre メルボルン泊
5	10月6日 (土)	メルボルン メルボルン発 ブリスベン着	午前 13:10 15:20	QF-618	市内自由視察 移動 ブリスベン泊
6	10月7日 (日)	ブリスベン	午前 16:00		自由視察 IFHE国際会議・レジストレーション ウェルカム・レセプション ブリスベン泊
7	10月8日 (月)	ブリスベン	終日		IFHE国際会議 ブリスベン泊
8	10月9日 (火)	ブリスベン	終日		IFHE国際会議 ガラ・ディナー(シティー・ホール) ブリスベン泊
9	10月10日 (水)	ブリスベン	10:00～		IFHEテクニカル・ツアー ①Lady Cilento Children's Hospital ②Royal Brisbane & Women's Hospital ブリスベン泊
10	10月11日 (木)	ブリスベン発 成田着	09:35 17:55	QF-06	解散